

山縣初男 やまがはら 支那文學研究家。生歿年不詳。號海城。陸軍歩兵大佐。大正時代より大正十五年までの前後二十年支那東南の駐留、この間支那文學を研究。曲蘖・蒙古事情に精通。

著譯書 『老子の新研究』 (大正十五年十一月十日大阪洋書店)、 『老子と易經との比較研究』 (昭和二年六月十五日大阪洋書店)、 『程頤廬作』 『揚州綺談』 (昭和十年六月一日秋豐園出版部)、 『張恨水作』 『支那の白晝像』 (昭和十四年六月二十日同倉書房)、 『巴金作』 『滅亡』 (ミエフシ) 『 (昭和十五年七月一日興亞書局)、 『復某作』 『大依艶史』 (原名野史曝言) 『 (昭和十五年七月二十九日興亞書局)、 『張資平作』 『瑛姑娘』 (インターニヤン) 『 (昭和十五年八月十八日興亞書局) 等。

老子の新研究